

授業科目(ナンバリング)	地域観光研究C(ヨーロッパ) (CA204)実践的教育科目			担当教員	板垣 朝之(実務家教員)		
展開方法	講義	単位数	2単位	開講年次・時期	2年・前期	必修・選択	選択
授業のねらい							アクティブ・ラーニングの類型
ヨーロッパにおける観光資源の多くは、歴史と文化に深く根ざした魅力的なものが多い。本講義では、ヨーロッパの主要各国の主な観光資源について歴史的、文化的な視点から把握し、観光素材としての魅力の本質を探り、観光立国先進地域であるヨーロッパ文化と観光のあり方を理解することを目標とする。キーワードは「文化の多様性理解」である。また「海外観光資源 A」修了者のアドバンス編としても有意義である。							②③⑩
ホスピタリティを構成する能力	学生の授業における到達目標				評価手段・方法	評価比率	
専門力	広範なヨーロッパの歴史、文化に興味を持ち、現代ヨーロッパ社会の諸相を相関づけて説明することができる。				・課題レポート ・定期試験	15% 10%	
情報収集、分析力	主要観光資源の歴史的、文化的背景の関連性をヨーロッパという「面」で捉えて理解、説明することができる。				・課題レポート ・定期試験	15% 10%	
コミュニケーション力	授業に参画し、アクティブラーニングを積極的に実践することができる。				・授業参画度	10%	
協働・課題解決力							
多様性理解力	主要観光資源について興味を持って学び、その所在地、歴史的背景、特色、観光的見どころ等を多様性というキーワードから説明することができる。				・課題レポート ・定期試験	10% 30%	
出 席					受験要件		
合 計					100%		
評価基準及び評価手段・方法の補足説明							
毎週の授業後のレスポンス/アンケートへの授業コメントを(授業で感じた事、気付いた事等を記入)、レポートとして2回提出、確認し、50%評価とする。また授業への参画度を10%、定期試験は実施せず期末にレポート課題を出題するので期限内に提出40%評価とし、これらを総合的に評価する。課題レポートのフィードバックは適宜ポートフォリオや授業時に行う。							
授業の概要							
主にビジュアル資料等を使用し、ヨーロッパ各国の観光資源を、各国の歴史的・文化的背景を軸に学ぶ。また歴史、宗教、文化がこの地域の人々の生活にどの様に作用してきたのか、それが現代ヨーロッパの諸相にどの様に影響を残しているのか等について、担当教員の旅行業での欧州駐在経験に基づく知見等も利用して、広範な知識の習得を目指す。この授業の標準的な1コマあたりの授業外学修時間は180分とする。							
教科書・参考書							
教科書：特に定めない。 参考書：『旅行業実務シリーズ⑧ 海外観光資源』ジェイティービー能力開発 指定図書：『ヨーロッパものしり紀行』神話・キリスト教編 紅山雪夫著 新潮文庫							
授業外における学修及び学生に期待すること							
ヨーロッパは長く世界文化の中心として捉えられてきたが、その歴史は複雑で、宗教、人種、民族、言語等様々な要素が織り込まれている。これを読み解くキーワードは「文化の多様性理解」であり、この授業が今日のヨーロッパにおける社会的動きの諸相が「何故そうなったのか」という興味への入り口になる事を期待する。日常からこの地で起きているニュース等に親しんでほしい。							
回	テーマ	授業の内容				予習・復習	

1	はじめに	ヨーロッパの文化と歴史的背景について、地理、宗教、言語、人種等の概観を理解する。	予習/復習：ヨーロッパの地理的位置関係を確認
2	ギリシャの観光資源	ヨーロッパ文化の原点としてのギリシャ、その代表的観光資源について学ぶ	予：ヨーロッパ文化の原点とは何かを考える 復：ギリシャ文化の現代への影響再確認
3	イタリアの観光資源（1）	ローマ帝国の繁栄とキリスト教禁教から国教化、教皇と王権の対立等、現代ヨーロッパ理解の基礎となる歴史的展開からローマの観光資源を概観する	予：古代ローマ帝国について考える 復：ローマの観光再確認
4	イタリアの観光資源（2）	ローマ帝国及びキリスト教、カトリックの聖地としてのローマの観光資源を学ぶ。	予：ローマ帝国とキリスト教発展について考える 復：ローマの観光再確認
5	イタリアの観光資源（3）	ルネッサンス文化とフィレンツェの観光資源について学ぶ	予：ルネッサンスとは何かを考える 復：ルネッサンス文化とフィレンツェの再確認
6	イタリアの観光資源（4）	ラグーナと運河によってつくられた都市国家と東地中海の歴史動向からヴェネツィアの観光資源を概観する	予：ヴェネツィアの観光資源再確認 復：ヴェネツィアの観光資源再確認
7	イタリアの観光資源（5）	イタリアの文化、食、美術等について学ぶ。	予：イタリア文化全体について考える 復：イタリア文化の再確認
8	フランスの観光資源（1）	ヨーロッパ絶対主義王権をいち早く確立し、首都として繁栄したパリの歴史的観光資源について学ぶ	予：パリの観光資源について考える 復：パリの歴史的立場づけの再確認
9	フランスの観光資源（2）	フランス各地方の観光資源について学ぶ	予：地中海地方、他フランスの各地方を確認 復：各地方の特色再確認
10	フランスの観光資源（3）	フランス文化の象徴としての美術館群とその収蔵品からヨーロッパ絵画史を概観する	予：フランスの美術について考える 復：フランスの美術館の特色について再確認
11	フランスの観光資源（4）	フランス文化の象徴としてのワイン、食について概観する	予：フランスの食の特色について考える 復：フランスの文化について再確認
12	スイスの観光資源	世界最初の観光立国スイスの代表的観光資源について学ぶ	予：スイス観光の特色について考える 復：スイスの観光資源の在り方の再確認
13	ドイツの観光資源	ドイツ中世の街並みを代表するロマンチック街道の観光資源について学ぶ。	予：ロマンチック街道の諸都市について考える 復：中世の魅力の再確認
14	イギリスの観光資源	大英帝国の繁栄と首都ロンドンおよびその他の地域の観光資源について学ぶ。	予：イギリスの4地方の特徴再確認 復：イギリス観光の魅力再確認
15	スペインの観光資源	イベリア半島の歴史とレコンキスタ、首都マドリードとスペイン各地方の代表的な観光資源について学ぶ。	予：イベリア半島の地理的特徴について確認 予：ヨーロッパ全体の観光のあり方を再確認
16	定期試験		